

ねえ、ねえ、学校、行こつ。

え、最後？

少し動揺してしまっ子も…

あら、洋ちゃん、なあに？

ねえ、ねえ、学校、行こつ。

おはよう！

土曜日はママ仕事だからね

おはよう！
ねえ、ねえ、学校、行こつ。

コラーレ・ドラマキッズ第4回公演

「洋ちゃんの学校」

脚本・演出／木津 修

2002年3月23日(土) 開場/18:30 開演/19:00

入場料 ■ 全席自由 800円 (当日1,000円) 会場 ■ 黒部市国際文化センター コラーレ(カーターホール)

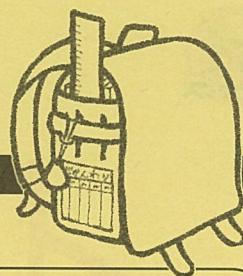
主催/財団法人黒部市国際文化センター 後援/黒部市 黒部市教育委員会

お問い合わせはコラーレまで▶TEL.0765(57)1201 FAX.0765(57)1207

日本芸術文化振興会
地域芸術文化活性化事業
(文化のまちづくり事業)



「洋ちゃんの学校」



あらすじ

洋ちゃん(嶋村洋子)は小学校5年生の女の子。K市の山間部に近い山元に住んでいる。洋ちゃんの通っている山元小学校は再来年、平成15年度からK市の丘の上小学校に統合される事となり、来年度を持って廃校される事となった。

洋ちゃんはその事を知ったのは、半年前の秋の運動会の事だった。

山元小学校が大好きだった洋ちゃんは大ショック。なんとか、山元小学校の存続を願って、担任の先生から校長先生、お父さんやお母さん、中学生のお姉ちゃん、親戚の伯父さん伯母さん、近所のおじさん、おばさんまで相談して廻った。……でも、洋ちゃんの切なる願いは届かなかった。いつしか、洋ちゃんは学校へ行かなくなった。そうして――。

上演に寄せて

脚本・演出／木津 修

コラーレ リトル・カルチャークラブ ドラマキッズの指導をするようになって4年の歳月が過ぎた。公演は3回の定期公演と番外公演と昨夏の特別公演で5本の作品を上演して来た。さて、次の定期公演は、「何を演ろうか？」と頭を悩ましていた時、世田谷区にある僕の事務所の近所の喫茶店で主婦達の会話を耳にした……。A「ねえ、来年から毎週土曜が休みになるのよね？」 B「何のこと？」 A「子供達よ。小学校も中学校も完全週休2日制になるって……」 C「あら、そうなの？」 A「あ、あ、困っちゃって……」 B「どうして？」 A「今の月2回ってというか、隔週の休みでも閉口してるのに……」 B「そうねえ……(家に)いるといろいろ手がかかるからね……」 A「でしょ？」 なんと呑気な会話だったが、僕はハツとした！「週休2日制は、子供達みんなにとって、歓迎されることなのか？」……アンケートをとってみた。ドラマキッズのメンバーは30名、コラーレ職員の皆さん……。勿論少ない回答数の中から全体を推し計ることは出来ないが、それでも僕にとっては貴重だった。皆一様に戸惑っているのだ！ 子供も大人も納得がいていない！ 要するに「決まった事だから」と不十分ながらも無理に呑み込んでいるのだ。他にもちょっと考えてみたい問題も含めて……作品を書き、創ってみた。勉強はあまり好きじゃなかったけど「学校」は大好きだった僕の少年時代を振り返って……。

● スタッフ ●

脚本・演出／木津 修
 演技指導／木津 智子
 宣伝美術／小森 睦美
 音楽協力／大谷氏
 舞台スタッフ／コラーレ・スタッフ
 制作／黒部市国際文化センター

● キャスト ●

コラーレ・ドラマキッズ

浅野 こゆき	平田 理奈
石田 亜季	水越 遥子
伊東 愛美	本浜 千裕
岩田 篤	山林 未来
大川 未紗季	吉田 彩乃
奥村 妙華	吉本 麻希子
覚川 紗由里	
倉田 夏希	木津 さくら
近藤 美穂	木津 智子
佐度 那津季	
島 桃子	ゲスト出演
新酒 茜	上岸 泰子(劇団文芸座)
新酒 美帆	盛安 祥子(劇団鷗座)
滝川 舞	
寺田 千晶	
中陳 恵実	
中田 健登	
能登 悠紀	
浜屋 千亮	

好評
発売中!!

あなたとライオン

あなたとライオン

大谷氏

大谷氏の世界がひろがるアルバム「あなたとライオン」。その中の「さらば床鍋小学校」をコラーレ・ドラマキッズ第4回公演のエンディングテーマ曲に使わせていただきました。歌詞は脚本・演出の木津 修により台本にあわせてものとなっています。



定価 2,800円

お問い合わせはコラーレまで▶TEL.0765(57)1201 FAX.0765(57)1207

